# 比島經濟再編新段階へ
## 先づ民衆を對象に
### 米の欺瞞政策着々打破

【マニラ廿一日同盟】一年を經過した比島經濟を日本の戰爭目的に沿ひ、かつ比島民の物質的生活を安定せしめる方向に對して再編成する大事業は漸く一つの段階を區切らうとしてゐる

**米の農政の破綻**

米國が比島の經濟を支配して來た原則は、自國の農業と工業とを共に保護しつゝ比島農業資源を獲得し、同時に自國の工業生産品を比島に出來るだけ多く賣りつけんとするにあつた、そのためには自國の農業と競爭關係の起らざる農業を助成し、その農産物を買上げただけの資金を米國工業品の對比島向け輸出に振り向けしめることが必要である、かゝる方策の下では工業品を多く賣りつけることは比島の農産物をより多く買ふことを意味する

然るに、工業國アメリカはなほ巨大なる農業國の半面を持つてゐた、茲に米國の糖業と比島の糖業、米國の油肥工業と比島の椰子油工業等に摩擦が生じて來る、米國はその時になつて比島領有以來とつて來た比島農業獎勵政策の破綻を發見した、茲で政治的には獨立問題の形式をとる比島の對米依存經濟の放棄問題が擡頭したのだ、然し比島民衆は獨立といふ名目的なものに眩惑されて苛酷なる米國が、自國の經濟政策遂行に都合の惡い比島を放棄せんとしてゐる事をよくみてゐなかつた、膨大なる課税、砂糖の堆積を抱へて比島が困つてゐる時に大東亞戰爭は勃發したのだ、一月二日マニラ入城後、日本が先づ着手したことは何のためであつたか比島民衆の食糧確保のための食糧增産運動、物價の不當なる昂騰の防止策、陸上交通網の早急なる回復、工場の再開と失業者吸收など、これらは今後の日本軍政運用の基礎條件を作るためではあつたが、すべては比島民衆を對象とした政策に外ならない

**新生の産業再編成**

日本軍が着手したのは東亞の比島として今後進むべき比島に適はしい産業の再編成であつた、先づ過剩農産物は農民に多くの現金を與へるために農民よりの直接買上げ方法が採られ、砂糖、コプラ、マニラ麻といつた過剩荷は急速に減少したのであるが、更に食糧自給態勢確立のためには安價な外米輸入のために濫ひされて、極めて低い生産力しか持たなかつた米作に、日本の改良した技術を吹込むことによつて大增産の達成を豫期せしめ前途の暗かつた糖業はアルコールやブタノールの增産といふ新たな役割を擔つて再出發した比島農民が最も多く從事してゐる椰子産業の再建のためにはコプラ增産計畫が實施せられ、農民の協力により生産されたコプラは敏速に鐵道でマニラに集中されて搾油工場で民衆の必需品たる石鹸、ラード等の原料と化しつゝある、米國の農業保護政策の犧牲となつて優秀な立地條件を持ちながら發達を見ずにゐた比島棉花は再び廣大な面積に亘つて栽培されるに至り、熱心な比島民衆の協力と日本の技術の力によつて今や決してアメリカ棉に劣らぬ優秀棉の生産をみるに至り、遠からず比島民衆は自國産棉花を以て造られた衣服を着ることが出來るのだ、また比島民が曾て米國の欺瞞的な農業行政策に弄ばれて栽培した蓖麻やデリスの如き有用農産物は、アメリカが他地域より輸入出來るやうになるや自然比島内ではその栽培が衰へつゝあつたが、これも再び日本の手で增産が獎勵せられんとしてゐる、生活必需品の增産のために日本は比島内のあらゆる工場を再開してゐるが、尙不足せる物資の生産のためには日本内地より工場施設を比島に移駐してまで比島民衆の物質的生活安定を圖らんとしてゐる

これからの經政策で次第に實際的な效果を生むときは、それは比島民のためばかりでなく、日本の必要とする物資が比島民の協力により自由に生産され、取得され、惹いては日本の國防生産力への偉大なる貢獻をするときだ、曾ては比島經濟の前途を暗い氣持で見つめてゐた比島人は、今や輝かしい氣持で開發に從事し、マニラ麻、コプラ等の資源はどしどし日本の國防生産力に寄與し、東亞を護る力となりつゝある

## 貯蓄取扱機關別 資金吸收目標額決る

【東京電話】大藏省では廿一日午前十時藏相官邸に全國金融統制會長、各業態別統制會理事長、貯金局長、簡易保險局長などの參集を求め、賀屋藏相、谷口大藏次官、氏家國民貯蓄局長ほか關係官出席、十八年度における貯蓄取扱機關別資金吸收目標額につき協議の結果次の如く決定した

(單位百萬圓)

| 機關 | 目標額 |
|---|---|
| 普通銀行統制會 | 五、二〇〇 |
| 地方銀行統制會 | 二、五〇〇 |
| 貯蓄銀行統制會 | 二、六〇〇 |
| 信託統制會 | 七〇〇 |
| 生命保險會社統制會 | 一、五〇〇 |
| 無盡統制會 | 三〇〇 |
| 組合金融統制會 | 二、三〇〇 |
| 市街地信用組合統制會 | 四〇〇 |
| 郵便貯金 | 四、二〇〇 |
| 簡易生命保險および郵便年金 | 一、〇〇〇 |

一方道府縣に對する目標額の配分については廿五日より開催の內政部長會議によつて正式に決定を見る豫定で、さらにこれが市町村以下の下部組織への配分などに關しては三月中に一切の手配を了し、新年度に入つて直ちに實施する方針である

## 指定請負業者へ
### 住宅營團で自由資材も配給

朝鮮住宅營團の指定請負業者を以て組織する親交會では廿二日午後一時から遞信事業會館に定時總會を開催したが、住宅營團側からは山田理事長、長鄕建設部長、眞海資材、近藤技術兩課長も臨席山田理事長の挨拶あつて工事施行に關しての長鄕建設部長の指示があり資材配給について種々討議したが統制資材入手難の深刻化に伴ひ今後は統制資材のみならず自由資材についても營團側で確保、配給することゝなつた

## 朝鮮油槽船初の發起人會

朝鮮におけるタンカーの一元的運營を目標としかねて當局援助のもとに朝鮮郵船、油肥聯、立石三社の間に折衝中の朝鮮油槽船株式會社(假稱、資本金四百萬圓、全額拂込)設立に關し廿二日午後一時から朝郵會議室において第一回發起人會を開催、定款その他につき審議したが、右新會社は來る三月二、三日ごろ創立總會を開き、同月十日より業務を開始する方針である、なほ同社創立後の朝鮮における タンカー運航業務者は朝郵が…

發起人は左のごとし
櫻木啓雄、草野泰吉、立石信吉、殿潮博、太田泰三、田中龍一、小林利夫

これに當ることになつてをり、同社の資本構成は油肥聯、立石兩社の現物出資に對し朝鮮郵船が過半數の出資を行ふことになつてゐる

## 絹織物の移入
### 折衝委員報告會

一、三月度および四、六月度朝鮮向け絹織物指定生産品の鮮內移入確保につき商工省はじめ內地關係方面と折衝のため東上中であつた朝鮮織物移入組合代表堀村常務理事、月崎東棉京城支店長代理ほか代表委員はこの程歸城

廿三日午後二時から纖維會館會議室に『折衝經過報告會』を開催す

なほ內地產絹織物の本年度鮮內移入見込は月額〇〇萬平方ヤールで前年度の三分の一程度とみられるが、スフ人絹の移入は見込み薄である

## 朝鮮有煙炭、南鮮に駐在員配置

朝鮮有煙炭會社では增產陣の整備を期し南鮮主要地に勞務事務を擔當する駐在員を設置し勞務事務の圓滑を圖ることになつた、駐在地並に駐在員は左の通り

▲大田(忠南、北道を管內とす)三浦滿平、香川亨
▲裡里(全南、北道)松方定憲、柳川富泰

## 對地、對人の實態調査
### けふから、水原で實施

半島農業再編成の基礎となるべき實態調査を全鮮一齊に開始するに當つて之が徹底正確を期し總督府は廿二日十四班(一班五名編成)の各道調査指導者を集め調査の細目打合せを行つたのちこれを實地に相川、石井技師の指導下に京畿道水原郡駐西面長里において廿三日から廿五日まで對地對人の各般の實態調査を行ふことになつた、これは朝鮮農政史上また今後將に展開されんとする農村の再編成の前提たる意味において重大なる意義があるものであり、かつ全鮮農政關係官僚の近代的…れる

## 日水清津工場
### 來月建設に着工

## 本社寄託獻金
國防獻金 恤兵金

## 金鑛整備は帝鑛が當る
### 岸商相、政府施策を明示

【東京電話】日本金鑛法の制定以來我が國金政策は大轉換を來すこととなりこれに伴ふ金鑛山の整備は愈よ本格的開始を見んとしてゐる際これが成立に就ては朝鮮鑛業界としても多大の關心をもつて注視するところであるが、廿二日衆議院石油專賣委員會において川崎巳之太郎氏(茨城)中島彌團次氏(東京)の質問に答へて岸商相、津田金屬局長は金の將來性に關する根本問題から金鑛の整備に至る廣汎な範圍に亘り政府の施策を明かにした、その方針は大體朝鮮にもその儘適用されるものでありその意味において朝鮮鑛業界の注目に値する

(一)金の將來性については種々の說があるがこの問題に斷定を與へるとは今日その時期でないと信ずる、當面金鑛整備を斷行するのは金が不必要になつたからといふ理由ではなく現實の必要を滿たして行くのに金鑛整備が前提となるからである、即ち金よりも一層重要な銅やその他の非鐵金屬增産のために金鑛山の資材勞務を轉用せんがためである

(一)重要金鑛にあつては將來金增産の必要とされるやうな事態をも豫想して採掘は中止してもその維持保有をはからねばならん

(一)金鑛山整備に當つては帝國鑛業開發をして買はせ同社のそれによる損失は政府において補償することゝなつてゐる

(一)買收價格その他については中央に買上評價委員會を組織せしめる、同委員會は官民寄合の委員會であるが統制會國策會社重要企業者、學識經驗者を參加せしめて資金調整委員會が買上全般の審議に當つてゐるやうに金鑛買上の一切の要件を審議決定することゝならう

**東拓七分据置** 東拓では二十二日午後二時から東京內幸町本社において第四十八回定時株主總會を開き當期諸決算案ならびに利益金處分案(配當年七分据置)を附議可決、退任理事上內彥策氏に慰勞金贈呈の件は重役會一任となつた

## 水稻の多收穫者
### 朝鮮水組で審査決定

朝鮮水利組合聯合會では水組農事改良の促進と食糧增産に拍車をかけるため先般在鮮組合に對し十七年度水稻多收穫品評會を行つたが、審査の結果黃海道信川水組の孫田幸治氏(反當り玄米收穫高四石六升六合)が特等に入賞以下一等二名、二等八名、三等十三名、合計廿四名の受賞者を決定した、なほ昨年度(十六年度)における反當り玄米收穫の最高成績は三石九升二合であつたが、十七年度においては不作にもかゝはらず最高は四石六升六合で、前年に比し六斗七升四合の增加となつてをり水利改良事業の改善に各組合とも全力を注いだことがうなづかれる、入賞者褒賞授與式は三月二十日ごろ府民館において開催するはずである、入賞者ならびに反當り玄米收穫高は左の通り

十七年度水稻多收穫品評會成績

| 等級 | 道名 | 組合名 | 氏名 | 玄米容量(單位合) |
|---|---|---|---|---|
| 特等 | 黃海 | 信川 | 孫田幸治 | 四、〇六六 |
| 一等 | 忠南 | 道高 | 松江鐘逸 | 三、八〇二 |
| 同 | 平北 | 博川 | 洪亨涉 | 三、四八三 |
| 二等 | 慶北 | 迎日 | 山本勝敏 | 三、三五六 |
| 同 | 咸北 | 花農 | 哲江東佳 | 三、三三四 |

## 京商劃期的機構改革
## 新たに三部を擴充
### 十月に商工經濟會實現

現在の都市單位商工會議所を道單位に再編成する總案の商工經濟會法案は、目下開會中の第八十一議會に提出され、議會の通過を俟つて內地は八月、朝鮮は十月ごろ實現をみることになつた、よつて京城商議ではこれに即應すべき事務局機構の劃期的な擴充計畫をはじめ會員資格の引上げ、支部設置案等について鋭意研究を進めつゝあるが、事務局機構の擴充に就ては總務、企畫、指導の三部を新設して道單位商工經濟會に相應しき陣容體制を確立、會員資格は現在營業稅額年額五十圓以上を納むる者となつてゐるがこれを百圓以上に引上げることに內定、この結果會員資格者も現在の六千人より二千人(三分の一)に減少する見込である、なほ道內支部設置數は未定であるが、大體仁川、開城に支部を設置し、さらに水原その他必要な地へ出張所を新設することにならう

## 國體の本義と道義半島(二)
鎌田澤一郎

### 三 歷史の純潔を保持
#### 日本民族は前進する

國體の本義に徹する―といふ事柄を徹に精神の歷史性を知悉するにとどめて、これを高閣につらねて省みざりしは過去における知性日本人の通有性であつた。今日の如き緊迫の諸相の裡に、自らを歎くの自覺をもつ日本人としては、最早この『國體の本義に徹する』の理念を強力に把握することなくして、その日本人的世界觀は成立しないのであり、昭和二千六百一年十二月八日以後の日本人の理想と生活は、まづこの『國體の本義に徹する』以外にその生存の道は發見されない筈である。

然し乍らまづ、皇國の昔に還るところにその理論の端を發するこの精神は、自然そこに古典的神事的努力を伴ふが爲、非合理主義のミスチイシズムか、又は極端にして非辨證法的なる退嬰論として片附けられ、近代知性人をして眞に納得せしめ得るの理論的境域にまで到達してゐなかつたことも遺憾ながら事實として認めざるを得ないのである。

問題はこの一點にある。即ち國體の本義に徹する――皇國の昔に還る――日本的世界觀を確立する――八紘爲宇の大精神――等、これら一聯の縱貫せる日本主義の眞髓は、決して素朴なる復古主義者の謂ふごとく、既成の傳統の枠に自己を固定し、その狹隘なる斷續的な世界に自己を見失ふごとき回顧主義にあらず、常に過去を嚴重しながらも、新未來にこそ感觸せなければならぬ。

即つて無限大に進展してゆく現實創造の中に動く發展的歷史的精神でなければならぬ。即ち時代の客觀的情勢に刺戟され、旺盛して、強い民族的意欲と湧き上る情熱を以て、斷然として時代の指導性を把握せんとする傳統と創造、復古と進步の高次なる展開であり、近代的知性を以て十二分にその理解に到達し得る內容をもつものでなければならぬのである。

われ〱の未來は世界史的大日本として、その高き民族的生命の躍動により、前史稀有の新しき時代を築き上げんとするにあり、その黎明はすでに訪れて居る。最早過去の歷史に後退し、躊躇することはない、前進一大前進あるのみ。その指導的精神の中核こそは『新しき時代精神を以てする日本國體本義の把握』にあることを今こそ深認識せなければならぬ。

### 四

萬邦に比類なき日本の國體はまづ其歷史の純潔に淵源を發する。歷史の純潔とは國史を貫く儼然たる左の諸事實を指す

一、神勅に源を發する天皇御親政の一元的御統治
二、君民一體の一大家族國家
三、二千六百餘年未だ外侮を受けたることなき純粹の國土

わが皇國は皇祖天照大神が神勅を皇孫瓊瓊杵ノ命に授け給うて、豐葦原瑞穗國に降臨せしめ給うたときにその端を發する。以來皇統連綿、萬古不易、つねに國家の中心たる現人神にあらせらるる天皇の御詔勅、即ち勅語、勅諭は皇國の際における神勅とともに、日本國民精神の中核であり、世界觀の基礎たるべきものであつた。即ち『皇國の昔に還る』といふことは、まづ神勅、勅語、勅諭に顯現された日本哲學を把握し、日本的世界觀を擴充するにある。そこに眞の日本主義が生れ、日本精神の理論と實踐の基本が發生する。神勅、勅語、勅諭についての…

これを詳細するにそこに三千年來一貫して流るる崇高雄渾なる日本精神の繼承を近代的知性を以てして一々これを解得することが出來るのである。

天照大神の皇孫に授け給ひし天壤無窮の第一神勅を嚆矢として、二千六百餘年の後世に於て、大東亞戰爭に對し下賜されたる宣戰の大詔に至るまでそこに現はされたる一貫せる御精神は、政治に於ては君民一體、祭政一致、道德に於ては忠仁、清純、大和を、外交に於ては萬邦協和、世界平和を夫々宣明昭示せられて餘すところがない。この指導精神を中核として萬邦無比のわが國體は嚴然たる現實として存在する。しかもあわたゞしい人類興亡史の上に於てひとりわが大日本帝國の寶祚が天壤とともにいや榮えに榮えて窮るところのない所以こそ、法規も權力も如何ともすることが出來ない神ながらなる天の續つぎ御位たるの實を示し、一切の人爲と作爲を超越し至高、至上、至嚴の絕對の御位…

個の謬解はこれを他日に譲る、只一であらせられるのである。

それこそ永遠の相において存じ給ふのである。かくて我國においては皇室こそ一切の淵源であり唯一にして絕對の統一中心であらせられる。少くとも生をこの國に享けたるものにとつて、この徹たる金甌無缺なるわが國體の徹貫を、何等の理論をも必要とせざるまでに味得するものこそすでに國體の本義に徹したる所以であり、日本的世界觀はその情操を基礎として出發する。

かゝる信念の永久不滅なることは、恐らくは人類史上日本人のみに許されたる特有のものであつて燦然として魂の奧底より迸り出づる日本民族の自然的なる感情である。かゝる特有、獨自の感情に出發すればこそ、幾多の國內における政權爭奪の外に皇室の御威嚴は常に平然として維持され來つたので あり、混亂紛糾の戰國時代においてすら、皇室を奉戴する武將にあらずんば、その志を遂げることは出來なかつたのである。

この嚴然にして悠久なる事實を…

## 隨想錄

## 一日錬成の記 (1)
佐々木禮三

# 蔣の輸血路に鐵槌

## わが廣州灣進駐を喜ぶ　林中國總領事談

神速果敢なわが陸海軍の作戰は再び南支那に展開されて廿二日の大本營發表にもある通り、廿一日佛國租借地たる廣州灣は遂に陸海軍の平和進駐を見たのである、同所は廣東省雷州半島の頸部、東海島その他を合せた要衝で、西暦一八九八年佛國が時の滿國から租借して本年で四十五年を經過してゐる、なほ同地は阿片戰爭の志士林則徐がかつて總督たりし時代に治めた土地とて、廿二日駐京城林中國總領事は陸海軍の進駐を聞いて我がことのやうに喜びつゝ次のやうに感激を語つた【寫眞＝林中國總領事】

廣州灣は今から四十五年前、時の滿國政府がフランスと戰つて敗れ遂に租借された地である、私は軍事專門家ではないからよく進駐の意義はわからないが、こゝは廣東、廣西、雲南各省へ通ずる物資の集散地で、恐らく蔣介石もこゝから秘密の輸血路を求めてゐたのかも知れぬ、一度こゝを抑され〻ば愈よ蔣も困るであらうし、廣州灣を抑へることによつてあの附近の省境を全部占領したのも同樣の戰果を得たともいへるのである、また佛國はこの地の租借の目的は一に佛領印度支那の保護を目的としたものであつたから、日本軍の進駐によつて同樣の軍事的價値がたかまることは當然だ、この度大東亞戰爭に參加した新中國の民が一日も早く蔣の抗戰迷夢を叩きのめして東亞民族を救ふために日本軍と共に相携へて起上つた時、ここにまた果敢な日本陸海軍の廣州灣進駐を見たのはまことに慶賀に堪へない、我々中國人としても大いに感激するところである

抹茶　煎茶　茶道具　夏川茶舗

# 戰鬪精神の昂揚へ

## 近づく第卅八回陸軍記念日

## 偉勳を偲ぶ『大陸軍展』

3月10日陸軍記念日

擊ちてし止まむ！

軍神につゞけ！　あゝ！けふも碎い肉彈が敵陣に殺到してゆく……。われらも突擊だ！

朝鮮軍報道部

【寫眞＝陸軍記念日ポスター】

### 總力聯盟

三月十日―輝く大東亞戰下再び迎へる第卅八回陸軍記念日に當り戰ふ日本は全國をあげて一大軍國繪卷を展開し、戰史の輝く皇軍勇士の千古不滅の功をたゝへるとゝもに、戰場精神をもつて大東亞戰爭を斷乎勝ちぬかんとする戰鬪意識を昂揚することとなつたが、總力聯盟ではこの日を一層意義ふかくするため朝鮮軍、總督府の後援を得て『第卅八回陸軍記念日大陸軍展』を三月六日から十四日までの十日間京城丁子屋、三中井、三越、和信の四百貨店で華々しく開催する

丁子屋は陸軍魂篇、三中井が傳統歷戰篇、三越が健民強兵篇、和信が銃後感謝篇とそれぞれ特色を活かしてこれを分類、各篇を通じて光榮にかがやく半島の徵兵制と闘魂を強くとりあげて強調する

展覽會内容　展覽會の内容は次の通り

▲陸軍魂篇（丁子屋）陸軍魂とは何ぞや、皇軍とは、神兵とは日本陸軍は何故世界最強の軍隊であるか、上下友愛一大家庭たる軍隊生活、軍人勅諭の解説

▲傳統歷戰篇―兵制篇（三中井）展開に拜する聖勅聖慮―陣頭におたち遊ばされる、如何なる戰闘役も聖戰ならざるはなく、然して之を貫くものは必勝の信念である、必勝の信念はどこから生れるか、即ち大元帥陛下の軍隊であるとの信念と鬼神も避くる徹底せる訓練からである

▲健民強兵篇（三越）世界最強の軍隊は世界最強の國民より生れる、剛にして健なる國民より忠にして勇なる兵は生れる、日本兵制を建軍の本義に基き力強く解説する、十歲の少年は十年を出でずして兵隊となる、國防とは何ぞや、國防が全からずして國民生活もなく大東亞、否世界の眞の康寧もあり得ない

▲銃後感謝篇（和信）揺ぎなき銃後ありて初めて第一線の奮闘が期待される、銃後もまた米英撃滅に總力を結集せねばならぬ、第一線に武器を送れ、彈丸を、飛行機、軍艦を、增産、增産、戰時生活を徹底せよ、銃後遺家族の援護は完璧なりや、慰問文慰問袋を送れ、英靈に額づき靖國精神を體得せよ

# 結ぶ前線、銃後

## 朗か愛國班便りなど

### 軍人援護會

大東亞建設の魁け―日露戰爭の陸軍記念日は來月十日その第卅八回目を迎へるが、總督府内軍人援護會朝鮮本部では大東亞戰下再び迎へるこの記念日をして前線と銃後を軍人援護の麗しい情で結び、一億總力のもと米英撃滅への覺悟をかためる國民運動の行事を起すとなつた、これには先づ婦人團體には陸軍墓地、忠靈塔、遺骨安置所などの清掃を勸めさらに慰問文の發送を學校、愛國班に要望し特に愛國班便りのやうな微笑ましい銃後の消息を傳へる、また陸軍病院に白衣の勇士の慰問、さらに戰歿出征應召軍人遺家族の慰問、また國防獻金などを通じて第一線に死鬪する勇士に後顧の憂ひをなからしめて聖戰完遂に邁進する

### ソ聯遣米使節否定

【モスコー廿一日同盟】タス通信社は廿一日最近頻りに傳へられてゐるチモシエンコ元帥を首班とするソ聯軍事使節團のアメリカ訪問説を事實無根として正式に否定した

レキシントン號撃沈日記

## わが潛艦も大搖れ

### 魚雷二本、みごと命中

【東京電話】米空母レキシントン號を撃沈した日本潛水艦に乘込んでゐた滕村軍醫の『レキシントン號撃沈の日記』がこのほど獨紙に掲載された、内容次の通り【寫眞＝ありし日のレキシントン號】

日暮後潛水命令が發せられた、各部署についてゐる乘組員全員がすつかり疲勞してゐる時のこととて全員『レキシントン見ゆ』との報に、電氣をかけられたやうにさつと緊張した、巨艦レキシントンは驅逐艦二隻及び巡洋艦一隻の護衛を受けてゐる護衛艦は何れも聽音機を備へてゐるらしく、レキシントンは堂々と大洋を航行してゐたのだ、艦長は直ちに艦内に於る諸動作を禁じた、通話管を通じて命令が發せられる、艦長は潛水鏡にぴたりとくつついたまゝ離れない、今迄あたりの暗黑にかくれて見えなかつたレキシントンの雄姿が西方の水平線上にぽかりとふさく浮んだ、魚雷第一彈が航空母艦に向け發射された、艦内の全員石の様に緊張し艦内の時計を見たり腕時計を見たり或は首を振りながら時間を勘定してゐる、魚雷の爆發時間が切れたと思つたその瞬間我々は金屬性の爆音を聞いた、續いて第二の轟音！魚雷が二發共命中したのだ、聽音機にかぢりついてゐた水兵が魚雷命中と叫んだ、彼の聲が艦内に響くや、全員喝采！」と突然彼は受話機を耳からはづしてしまつた、轟然たる爆發は耳を聾せんばかりであつたのだ、潛水艦は左右に大きく搖れた、艦内の備品が上から落ちた、『爆雷だ』と誰かが叫んだ、しかし爆雷ではなかつた、艦はレキシントンの爆發のために搖れたのであつた

### 初の總督賞銓衡委員會開く

文學部門に對する總督賞授與につき先に銓衡委員が委囑されたが、その第一回銓衡委員會は廿二日午後二時から國民總力朝鮮聯盟事務局會議室で開かれた、津田聯盟宣傳部長をはじめ、寺本同文化課長、崔載瑞、兪鎭午、白鐵、芳村香道、寺田瑛、杉本長夫諸氏のほか本府からは掌本情報課長、石本調査官も出席、推薦參考作品十一篇につき各自隔意なき意見の交換をなし午後四時四十分散會したが、更に來る三月一日午後一時から本府第三會議室で第二回委員會を開き、第一回委員會の結果に基づき慎重審議をつゞける筈である

# 趣旨徹底に拍車

## けふの水原を振り出しに

## 全鮮各地で徵兵の夕

總力聯盟ではいよいよ明年に迫つた朝鮮の徵兵制の趣旨徹底に拍車をかけるため『徵兵制の夕』を全鮮各地に開催、戰場精神の昂揚に資するが、その會期はけふ廿三日の水原を振り出しに京畿、平南、平北を第一期として國民總力朝鮮聯盟及び各道府郡聯盟主催のもとに映畫と音樂を携へこれに朝鮮聯盟宣傳部各課長總動員により講演を加へて巡回、ついで三月中旬には黃海道を第二期とし、順次各道全體に及んで開催の豫定で、讃れの半島徵兵制のめでたき前奏曲としてこの試みは多大の興味と關心がよせられてゐる、當日の番組と巡回地は左の通り

◇講演　國民總力聯盟宣傳部森田編輯課長、西山宣傳課長、寺本文化課長

◇映畫　日本ニユース『勝利の誓』

◇音樂　愛國歌謠

◇巡回日程　二月廿三日水原、廿四、五兩日開城、廿六日鐵原、廿八日海州、三月一日順川、二日宣川、三日義州、四日水豐

### 河豚の中毒頻發

東大門署では最近管内で河豚中毒者が頻發するので人的資源の增強が叫ばれる折柄ちよつとした不注意であたら一命を落すやうではと一般に警告を與へてゐるが、廿二日茂松衞生主任は次のやうに語る

河豚中毒者は最近ますます增加の傾向を辿り、再三の注意にも拘らず頻發することは誠に寒心に堪へない、その多くは河豚に對する知識をもたぬ土幕民などの貧民層の者で占められ、これら中毒の原因を調べると殆どが塵箱に捨てられた河豚の臟物を持ち歸り食べるためであり、この臟物處理については一般人も相當考慮して他の魚と同一視しないやう注意されたい

# 行け農村慰問隊

## 廿六日京城府民館で結成式

都會と農村の心を溫く繋ぐ全鮮で最初の試み京城府主催の『農村慰問演藝隊』は都心地へ送る米穀の供出に擧げて從事した農村へ贈る感謝の使節としていよいよ廿六日午後四時から府民館でその結成式を擧行、約廿日間の豫定で京畿道管下各府郡へ發足することとなつた、一行は七ケ班に分れて府會議員あるひは府主事が班長となり、副班長各一名に

第一班は映畫班二人、藝人四人

第二班は紙芝居一人、藝人五人

第三班は映畫班二人、藝人四人

第四班は紙芝居一人、藝人五人

第五班は映畫班二人、藝人四人

第六班は映畫班二人、藝人四人

第七班は紙芝居一人、藝人五人

となつてゐる、また出發は第一、二、三、五各班が廿七日、第四、六、七各班は來月十一日の豫定となつてゐる

# 古刹の跡か

## 仁川で珍しい古代瓦發掘

【仁川電話】雄大華麗な大寺院を幻想させるやうな珍しい古瓦發掘―仁川府觀察町國民學校附近からこんな古瓦が發掘されましたが…と二、三日前野々村仁川高女校長のもとに同町の一居住者から古色蒼然たる瓦破片十數箇が屆けられ、考證學に造詣深い野々村校長を『ヤアこれは珍らしい』と喜ばせたが、同校長はこれは先年發見された礎石と關聯をもつもので、あの箇所にはその昔きつと由緒ある大寺院があつたものだらうと斷定、その寺院が如何なるものであつたかについてその調査研究をつゞけ、この數々の古瓦は仁川鄕土館に陳列されることになつた、野々村校長は語る

朝鮮國民學校東隣接の丘の上、即ち現在帝國纖維の社宅になつてゐる箇所から先年珍しい伽藍石數箇と珍らしいものが發見され、當時、若しかしたら、古い大寺院があつたのではなからうかと調査を始めたのですが、この程また色々な古代瓦が發掘されたので愈よその感を深くし興味をもつて調査してゐるところです、發掘された瓦といふのはいづれも破片ではありますが、十數個もあり、型、模樣などからして高麗中期、末期李朝初期のものであることは間違なしで、こんな珍しい立派な古代瓦が出たのは仁川では初めてゞす、これをいろいろ考察してみますと確にあの附近に結構壯大な寺院があつたであらうことが頷かれるわけで、南面して相當大きな門があり、門から二十米ほど奥に本堂があつたと思はれます、本堂の柱の奥行が二十五尺くらゐと推せられ間口は約五十尺くらゐ…

發掘された古代瓦（右）李朝初期（左上）高麗中期（左下）同末期

### 米、大量の水雷艇建造

【リスボン二十一日同盟】ワシントン來電＝米海軍は水雷艇の大量建造に…

# 晴の徵兵制に備へて

## 馬杉朝鮮軍參謀の要望【二】

事務の概要は以上の通りであるが、さて徵兵制を施行されるまでに、軍としても官廳としても、またその親としても兄弟としても、さらに直接指導に當つていたゞく皆樣方としても準備して頂かなければならないことが澤山あるので、それ等についてやゝ詳しく申上げたいと思ふ、第一に現在の兵役法は憲法の上からしても國民皆兵であつて、日本人である以上は朝鮮人であらうが、台灣人であらうが、男であらうが、女であらうが皆兵役の義務をもつ、國民皆兵のわけである、しかしながら兵役法に定めるところは戶籍法の適用を受ける男子といふことになつてゐるのであつて、その勅令を以て徵集されるのであつて、その勅令の定めてある現勤令によつてこれを徵けない、台灣人も同じである、從しかし朝鮮人は戶籍法の適用を受…

つてこれは徵集をされない譯であるる、だから現在のまゝの法令ではどうしても十九年度から施行するといふことは出來ないので、今次の議會にその法律案が提出され審議され、そして四月にはこれが公布せられるであらう、更にそれに應じた勅令、省令が出されることを豫期出來るのである

次に直接準備して頂かなければならぬことについて申上げたい第一に準備しなければならぬことは戶籍の整備である、ところが戶籍の意識なるものを知らぬ人が案外多いといふのが現下の實情ではないかと思はれる、總督府に於ては内地には手は出してゐないが、滿洲、支那等には派遣員を出して無籍者を就籍せしめることに非常な努力を拂つてゐる、そこで何故戶籍を整備しなければならないかといふ問題が起るのであるが、兵役法は最も公平にこの義務を負荷するといふとが基礎に出來上つてゐるといふ事情が續いてゐるときには某

それはどういふことかといふと先づ軍だけの要求から申せば、非常に體位のよい、必要な能力あるところの壯丁だけを頂きたいのである、それがためには、例へば大阪の壯丁が體格が惡いといふならこゝから少く採る、田舍の壯丁がいゝ、例へば兵庫縣の方が壯丁の體格が斷然優れてゐるといふならばそこから澤山採る、或は北海道がいゝといふならそこから澤山採るといふ風に、いゝところからいゝ壯丁を頂いたら誠に結構なのであるが、若し斯樣な方法をとつたならば或る地方からはうんと採らねばならない、某地方はやたらに殘つてゐるといふやうな結果になり、實にこの崇高なる義務を公平に負荷せしめ得ないのみならず、また昨今のやうに戰爭が起る、事變が續いてゐるときには某地方のみに負擔が偏つてくる、戰傷者が殘つてくるといふことではこれは國家としても許せないことである、また體格方面からいつても某方面からのみ採るといふことは出來ないわけである、そこで徵募區といつて地方の區劃に應じ適當に徵募區を定め、その中から何パーセント、或は何十パーセントと決定して採るわけである、そしてそれは原籍に該當されてゐるわけであつて、本籍地において戶籍を整備して戴くといふことは徵集その他一切に亘つて半島そのものが公平にうまくゆくもととなるので

# 先づ戶籍整備から

## 名譽享受へ數々の準備

ある、そこでこれ等をそのまゝ實施しようとするならどうしても戶籍の整備をやつて戴かなければならぬ、國家としても實施したいといふのが當然のことと御氣付きになることと思ふ

なほ戶籍は整備しても本人が現在何處に居るかといふことが最大の問題になつて來る、こゝに寄留といふことが必要となつてくるのである、御承知の如く朝鮮においても昨年朝鮮寄留令を設け、十月一日以降早速その寄留令によつて屆出をすることになり、現在までの成績によると都會地に於ては百パーセント以上である、これは昭和十五年の人口を基礎としてゐるので百廿パーセント、百三十パーセントといつてゐるところもある、それだけ人口が殖えてゐるのであつて、當然のことである、かうした實情から見てその氣持の通じたところでは大體において百パーセントの寄留率であると信ぜられてゐる、ところが田舍においては大體四十パーセントに過ぎず、甚だ殘念に思ふのであるが、寄留の何たるか、また必要も感ぜられないし、又直接指導にあたる邑面の當路者もあまり關心がないといふやうなところもあるやに承りこの方面の指導にも努力してゐるのである、要するに今後は物資配給の關係等もあり速かに寄留、戶籍を整へ寄留をして頂かなければ、さしあたり御困りになるのではないかといふ危惧もある、どうかさういふ點についても指導していたゞきたい

次に兵役に關する恩典について述べると、第一兵役に服してゐるものは心身ともに健全なものであるよき者なりといふことをまづ證明されてゐるわけで、更に言へば兵役に採つて貰へなかつたものは全然兵役に…

い、要するに心身ともに健全であるといふことをよく證してゐる、即ち立派な國民であり、立派な人間であるといふことを證してゐるので、これのみを見ても兵役に服するといふことは靑年最大の名譽なのである、更に武功に對する名譽、また御國のために斃れたり傷ついたりする場合の恩典について

は皆樣も御承知の通りと思ふが、更に戰ひに斃れたものが靖國神社に祀られ　陛下の御親拜を受けるといふ最高の名譽はこれは他にないのである、名譽は更に後に殘つた家族又は傷ついて働けなくなつた本人なり家族についても生活の不安がないやうに扶助料とか傷病恩給といふものが準備されてをり、後顧の憂ひは全然ない、また徵集されて、兵務に就いたため家族のものが生活に困るやうなことがあつたならその程度に應じ救護の方法も準備されてゐる、またやむにやまれぬため本人が徵集されれば困るといふときには徵集が免除されるといふ恩典も定めてある、更に勉學中の者には徵集延期が許され學校、學業を完全に了へることが出來る、家としては大切な父であり、夫であり、また子供であり、兄弟であるものを御國のために捧げて頂くのであるから、それに應ずるあらゆる準備を整へてゐる譯であり、親心を發揮してゐるわけなのである

次に準備して頂かなければならぬことは國語の普及である、この點については内地在住半島の方にはあまり心配はないと思ふ、今回の志願兵の檢査に來てゐる應募者を見ても殆ど内地にあつて朝鮮語は判らないものも相當ある、内地の方は殆ど心配ないと思ふが新たにこちらに來て語りて話し、内地語だか朝鮮語だか判らないやうな言葉の人もあるのではないかと思ふ、さういふ人々に正確な國語を使つて頂くことについて是非熱心且つ適切な指導を御願ひしたいのである、こゝで序に申上げるが、國語の出來る、出來ぬといふことと徵集するかしないかといふことは全然無關係で、國語が出來ようが出來まいが規格に合うたものは全部採るのである、したがつて國語を知らずして入隊したなら、本人が先づ苦勞する、勿論敎育に當るものも苦勞する、しかしさうした場合に隊としてはそれを敎育するために別途の方法を講ずるのは當然で總督府としても一人でもさうしたもののないやうにと國語講習所を徵兵制の發表と共に國民學校に附設し、靑年特別錬成所を設け大體適齡のものを集めて國語で生活訓練を行ひ、軍隊に入つたときに是非困らない程度にまで仕上げておかうと努めてゐるのである、國語を知らなければ隊から家庭へ手紙を出すこともできない、諺文で書かれた手紙では隊から出すことは出來ない、是非これは國語で書いてもらはなければ手紙も出すことは出來ない、從つて本人のみならず家庭に於ても心配があり…

# 親切は警察から

## 張り切る東大門署

明朗な警察の親切を呼びかける〝第二回親切週間運動〟は去る廿日から全鮮一齊に華々しい運動が展開されてゐるが、京城東大門警察署では此親切運動に相呼應して〝親切は先づ警察の入口からだ〟と玄關口に『受附案内係』を設け、溫顔に微笑を湛へた巡査が交替に來客の案内に努めてゐるのである、〝はい高等係はこの階段をあがつた二階でございます〟〝憲兵隊は明十九年度から實施されます〟とこゝに國策遂行への警民一體調がうかゞはれるのも頼母しい【寫眞＝張り切る東大門署の窓口】

# 困惑する遺家族へ差伸べられた〝親切〟

## 週間中に胸のすく佳話

遺家族を慰る車中美談―去る廿日東大門署經濟係の古賀部長刑事は公務で京釜線列車に乘り込み秋風嶺附近を走つてゐるとき、三十ぐらゐの內地婦人が赤ん坊を背負つてなにか困惑してゐる樣子を見取り、早速その事情をきゝ質してみると

實はあたし京城本町四に住んでゐるものですが、このほど主人を第一線に送り妾はこれから鄕里の長崎まで參りますが財布を失くして困つてゐる次第ですとのことであつた、この氣の毒な事情を知つた古賀部長は〝我々銃後國民は揃つて遺家族を護らねばならぬ〟と自分の財布から金一封を取り出すと折よく乘り合はせた咸北永同邑自動車業金島周相氏、大邱醫專教授森安醫博の令妹某も率先金一封づつを固く辭する遺家族に贈つて旅費を補助した、これに感激した乘客一同も『私たちも出させていたゞきます』と各各金一封づつを出し合つて同遺家族を護つたのであるが、この警民一體の麗しい話が親切週間第三日目の廿二日某氏から同署に屆けられた書面によつて初めて判明、署員の感激を呼んでゐる、古賀部長は語る

特に警官だからといふよりも銃後の我々が遺家族を慰めることが一つの御奉公にもなります、本當にその人が困惑してゐるのを見たときは、ぢつとしてをられなかつたのです、僕達の好意が寸毫のお助けにでもなつたのなら、この上もない喜びと存じます

## 阿峴町二町會事務所竣工

阿峴町二町會では昨年六月から工費一萬五千圓を投じて同町三六三番地に町會事務所を新築中であつたが、このほど竣工したので廿四日午後三時から同所で小泉總代はじめ來賓、愛國班員多數參列のもとに盛大に落成式を擧行することになつたが、この町會事務所の二階は約百五十人を收容出來る小講堂となつてをり、これを町會では時局柄愛國班員の結婚式の簡素を圖るための式場として一般に開放するとともに警防團、青年隊、日婦分會員などの鍊成場、國語講習會場としてどしどし利用するやう望んでゐる

# 賴もしい決戰風景

## 笑顔で購ふ年度末國債

九億貯蓄はいまひといき、廿二日一齊に賣り出された國債は、最後の決勝點をめがけて飛び寄る人々の突撃で各郵便局、銀行の窓口は長蛇の列で身動きならぬ賑ひを呈した

君も僕も、あなたも私も、節約から生れた貴重な財源を喜びとともに投げ出して一枚、二枚と買上げる國債の表を眺めては笑顔が浮ぶ、買つたこの國債が彈丸となり飛機となり戰車となつて行くところ、醜敵米英兩の泣きつつらはその形態を止めぬまでに粉碎されて行くのだ……

本年度末最後の國債賣出しに早くも釀し出された銃後決戰風景は、街に、邑に、銀行に、金融組合に郵便局に、あらゆる金融部門を動員して愈よ廿二日から開始されたのだ【寫眞＝京城中央郵便局の國債賣出し】

# 赤誠の堆積

## 回收を待つ鐵類の山

街の鐵山掘り出しにまづ京畿道、京城府が範を示してすでに兩管下の各學校、運動場その他關係各出張所はもとより兩官廳內の鐵といふ鐵は全部取外され、このほど京城府內は回收し切れぬほどの供出ぶりを見せてゐるが、早くもこれを一手に引受けてゐる朝鮮資源統制會社に嬉しい悲鳴をあげさせてゐる、試みに京畿道廳の裏庭を見ても去年取外した鐵物が山のやうに雨露に曝されてをり、職員一同一日も早くこの回收を切望してゐる狀態であるが、これについて回收統制會社では次のやうに釋明してゐる

警察署では、通知があると同時に地區の配下商人によつて直ちに回收を行はせる仕組になつてをりますので殘つてゐる筈はないのですが、あるひは一度にどつと出されると回收し切れぬ場合があります、しかし、せつかく供出された府民の赤誠を街に放置することは出來ませんからさつそく殘つてゐる方面には人を差向けませう、とまれ回收しきれぬほど鐵が出ることはまだまだ半島の餘力を示すものです

また京城府土木課長は語る

鐵は全部出しましたので今月末くための豫算を提出します、次からの府會にはその代用物を置くための豫算をまだ樹てゝをりませんので算はつきりは決定いたしませんが近くこれも取外すやうになると思ひます

## 赤誠の花束

廿二日、龍山署に相繼いだ赤誠溢るる寄託獻金

桑町一田中ケイさんは五十錢銀貨五十三枚、十錢白銅貨廿一枚一錢銅貨二百五十枚、眞鍮盆一箇を米英を叩き潰す兵器の一部にと陸海軍へ獻納▲孔德町一七梅花酒店朴順伊さんは毎日の賣上金の中から銀貨、銅貨を貯めてゐたが五十錢銀貨十五枚、十錢白銅貨四十五枚、一錢銅貨八十枚のほかに、現金卅八圓廿錢と魚雷の一部にもなればと眞鍮食器十點を添へて獻納▲桑町四〇用達業元永壽吉氏は五十錢銀貨六枚、十錢白銅貨二百六十枚、五錢白銅貨六枚、一錢銅貨百廿一枚、五厘三枚、滿洲國一分一枚、古錢二枚を國防獻金

# 京仁街道

## 〝乘馬で疾驅は危險デス〟

二十一日午後一時半頃永登浦町四五〇松原永夏君(三七)が砂運搬のトラックを操縦して京城飛行場に向ふ途中、新吉町九六番地先京仁街道で纛梁津方面から疾驅して來た朝運永登浦支店社員牧山昌鎬氏(三〇)の乘馬を轢き倒し馬は卽死牧山氏は顔面その他に骨折の重傷を負つたので龍山鐵道病院で手當を加へたが同五時遂に死亡した弘田永登浦署司法主任は語る

決戰下國民鍛錬の線に沿つて乘馬熱が常に昂つたことは誠に喜ばしいことであるが、京仁街道の如き交通頻繁のところで馬を驅ることは交通事故の禍因となるから篤と注意して欲しい、今後斯樣な場所を乘馬で疾驅することは嚴に取締ると共に違反者はどしどし處罰する方針である

**林秉道氏葬儀**　城大豫科教授林秉道氏は二十一日急逝したが葬儀は二十三日午後五時から京城若草町西本願寺で執行される

# 恩師へ捧ぐ寄託獻金を續る美談

## 若き産業戰士の純情

決戰下どんと高まつた武道熱、その眞劍なる演武から湧ゑつけられた〝やりぬく精神〟いざといふ場合、おくれをとらぬ氣力が遺憾なく養はれた若き産業戰士の氣高さをお聞きない――大東亞建設戰にも立派に勝ちぬかうと烈々たる赤誠を打ち込んで産業戰士の育成にいそしんでゐる京城工業では、この輝かしき戰線に數多くの少年産業戰士を送り出し朝に夕にその働きぶりを案じてゐるところへ同校柔道主任山口先生にその愛弟子から一通の手紙が屆けられた

これは昨年の春に卒業し大東亞戰第二年の新春を迎へて目出度く北の國境平北義州、西松組新水派出所の職場に出陣、身を刺す酷寒の朔風をものともせず決戰下産業戰士の意氣を誇り、その輝かしき希望にふくらむ胸を躍らせて眞劍そのものゝ奮鬪をつゞけてゐる大仁田邦司君(一九)が、心も身も柔道で鍛へさせて戴いた恩師に限りなき感激をこめて『お宅の神棚に御初穗として供へて下さい』と初めて貰つた給料から割いた金十圓を添へて來た封書で、これを手にした山口先生の喜びも一通りではなく、その純情に泣かされたのであつた

やがて上山校長に報告され、校長は翌朝、朝會に千餘名の學生に大仁田君の純情溢るゝ手紙を朗讀しこの大仁田君にならつて今後大いに産業報國の誠を盡すやう一場の力強い訓示を與へるや參列の學生たちも感極まつて期せずして大仁田君の萬歲を叫んだ

なほ當の山口先生は大仁田君から御初穗として送られた金十圓を意義あらしむるべく國防機材費として獻金方を本社永登浦支局に依賴した

## 飯島さんの美擧

通義町三五飯島剛氏は三十二年間本社輪轉係に勤務このほど退社し

# 手綱を緊めて貯蓄攻勢

## 半島縮刷版

【全州】九億貯蓄攻勢に拔群の成果をあげた全北では九億貯蓄强調週間終了後もなほ手綱を弛めず貯蓄必成につとめた結果、一月末現在二千九百九十五萬五千圓に達し本府割當二千七百萬圓を遙かに突破、目標の三千萬圓に殆ど肉薄して全鮮制覇の榮冠を獲得したが、道當局では十八年度の十一億貯蓄達成攻勢に備へ貯蓄報國の赤誠を全うすべく廿七日道食堂で各貯蓄機關代表者懇談會を開き十七年度の貯蓄實績を檢討すると共に十八年度の貯蓄獎勵實施計畫を協議する

### 豫算道會を招集

【羅南】新年度豫算を大評定する咸北道會の招集は來る三月十一日から四日間に亙り開催されることになつたが、今回は休會なしに初日知事演述と內務部長の豫算說明に次いで超速度の審議を行ふことゝなつた

### 運材作業を銀幕へ

【城津】白茂高原の運材作業狀況銀幕へ……酷寒にさらされるまゝ原始林と取り組み敢鬪する産業戰士たちの尊き姿と榮軌運搬の現況を銀幕に收め廣く世人に紹介するため、朝鮮映畫社廣田氏ほか三名の一行が來北し延岸方面を舞台にクランクを開始する

### 學舍を護る豆歩哨

【新義州】兵營ならぬ學び舍を護る豆歩哨が銃劍ならぬ木銃をいかめしく突きつけて平北新義州霞井國民學校の校門に君臨〝餘人入れまじ〟の可愛い警戒ぶりを見せてゐる……

これは同校石井校長の着想により將來兵隊となるべき半島少國民に責任感と義務觀念鍊成の一方策として五、六年兒童を廿分交替で歩哨に立たせ學校護衛に當らせるもので、この豆歩哨は毎朝登校時間から授業がひけるまで學校出入人の監視、校內兒童の監督に當つてゐるが一人の歩哨時間は廿分で授業には別段支障なく、勤務終了後は必ずその間の狀況を報告させ、その責任の完遂を果させてゐる

### 家畜增産に大童

【光州】食糧增産の急務に應へて全南では新年度から家畜の一大增産を圖ることゝなつた、卽ち緬羊、牛豚の飛躍的增産をめざしてこれが飼料の確保を行ふため四月から一般農家に對し乾草の大增産を行はせるほか濃厚な飼料としてヌカ類、碎麥類などを各郡の農會が主體となつてこれが確保策を堅持し飼料難を一掃する

他方精神指導技術指導などをも强化、一般家畜の增殖に關する講習會、農耕馬競技大會なども開催すると共に道內の病畜治療所の增設、鷄の共同育雛場をも設置する計畫を樹てゝゐる

### 家內工業の新作品

【光州】資源節約の家內工業として新作品が賣出された―全南松汀里の工藝品會社では藁と綿布、皮革類で造られる履物の鼻緖代用品として藺草を材料とする手編鼻緖を製作し一足分十八錢で商工獎勵館から賣出すこととなつた

同品は赤、青、黃の原色配合で染色され耐久力も在來のスフ混成品よりも强靭である上價格も安いのが特長である、道では一般の需要が多ければ家內工業として獎勵する方針である

### 榮養豐かな海藻食

【咸興】無盡藏の海藻をもつて榮養豐かな國策食をつくらうと鋭意研究をすゝめてゐる西湖津新井化學研究所ではこのほど咸南道へ主としてホンダワラを原料とする海藻ミール、海藻菜・海藻米の三種の新製法と製造可能の數量を發表したが、この海藻食が普及すれば日本の食糧問題は見事解決するものと大いに期待されてゐる

### 棉花增産へ素ら

【釜山】戰時下重要資源の棉花增産について慶南道では明十八年度增産計畫として作付計畫面積三萬八千四百町歩、收穫豫想高四千二百萬斤、反當收量百十斤、供出計畫數量二千五百萬斤を樹立し、これが完遂のため作付反別の充實、集約栽培による反當增産等を圖るべく萬般の準備を進めてゐる

## 連載小說　大いなる祭【76】

中野實　作　二芳佛伍　繪

愛と彈丸と（十）

一瞬、美々は一寸躊躇した。が、彼女も決してその躊躇をたゞの臆と見せはしなかつた。女らしい羞しさと、亡夫への申譯なさに咎をにぶらせてゐるやうに見せかける自然な技巧を持つてゐた。

『いゝわ』

美々は張の膝の上に身體をゆだねたまゝ囁いた。

『何處へでも行くわ』

『よし。いはう』

『何處なんですか』

『河南の金白鸝の家さ』

『まあ、白鸝さんの……』

『さうなんだよ』

『どうして白鸝さんの家であんなものが入に手つたの』

『そいつは俺も白鸝と約束したらいはれないよ。だが、白鸝の手に入れたことだけはたしかよ』

『さう』

『さ美々。飯を食つたら、ぽつぽつ出かけようぢやあないか』

『えゝ』

銀輪を出ると、張はすぐ二台の俥をよんで、新馬路の明月ホテルへ美々を運れ込んだ。

『はゝゝゝ、たうとうお前と一緒になつたね』

後手で扉を閉めると、張は滿面に得意さうな笑ひをうかべて云つた。

『美々はあんたのものよ』

『……』

と張はいきなり息をはづませた獸のやうに眞正面からかぶさつて來ようとした

だつた。

『あ…』

と美々は何か思ひ出したやうに低聲で叫んで起上つた。

『どうしたんだ』

『すつかり忘れてゐたわ』

『なにを？』

『いえ、さつき下九甫路で、布地を買つたのよ。それを置き忘れて來てしまつたの』

『へえ』

## ラヂオ　23日

朝　七・〇〇時報(名)翼賛する産業報國會愛知縣産業報國會部長加藤利三郎、相川忠一▲九・〇〇(城)戰時家庭の時間▲婦人の力陸軍大佐厚地兼彦▲一一・〇〇國民學校放送『二年生の時間』

晝　〇・三〇吹奏樂と軍歌▲一・〇〇朗讀放送『高學年の時間』▲一・〇〇國民學校放送